

小田急電鉄30000形「EXE」のバリアフリー設備のご案内 (2020年3月14日現在)

©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

30000形は1996年に「EXE」として営業運転を開始した車両で、2017年から開始したリニューアル改造を受けた車両は愛称が「EXE (アルファ)」と改められました。「EXE」では60000形「MSE」と同様の車いすスペースの拡充と、売店を車内販売準備室へと縮小した跡に多目的室を設置したなどの変更点があります。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と標記)

車いすスペース(次ページの配置図で「h」と標記)

5号車と8号車のそれぞれ1番A席・2番D席が車いすからの乗り移りに便利のように肘掛けを跳ね上げることができる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。また1番CD席に相当する場所に腰掛1脚(2席分)を撤去した広さの車いすスペースがあります。

更に2番AB席・3番CD席が介助・同伴者用の席として、車いす対応座席と共に一般席とは別枠で管理されています。

(AB席は相模湾側、CD席は丹沢山地側)

ただしこれらの席は、一般席が満席近くなると健常者にも発売されることがあります。

多目的室

3号車の新宿寄りと9号車の小田原寄りに車いす対応でないものが設置されています。

トイレ(次ページの配置図で「O」と標記)

5号車と8号車の小田原寄りにベビーベッド(おむつ交換台)とオストメイト用設備を併設した多機能トイレがあります。

洗面所

5号車と8号車のトイレの裏に車いす対応構造のものが設置されています。

公衆電話

NTTドコモの第2世代携帯電話「moVa」のサービス終了に関連して、2012年3月17日のダイヤ改正の頃に撤去されました。

それまでは3・4号車の新宿寄りと9号車の小田原寄りに車いす対応でない構造のものが設置されていました。

飲料自動販売機(次ページの配置図で「v」と標記)

3号車と9号車に車いす対応構造でないものが設置されています。

受動喫煙の発生状況

2007年3月18日から全車禁煙です。

乗車・調査の実施記録

2020年6月16日(火曜日)新宿20時00分発「ホームウェイ9号」

車両番号・5号車=デハ30206、8号車=デハ30106

(いずれも2020年に日本車両でリニューアル改造を実施)

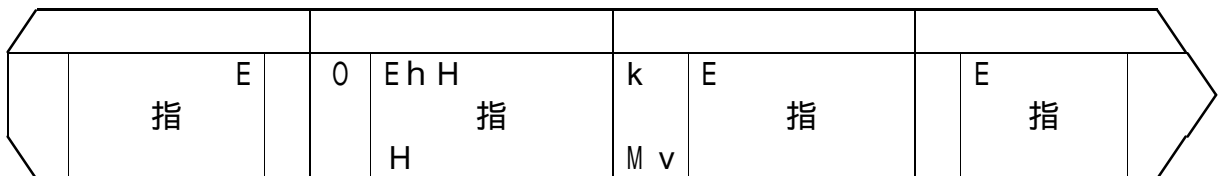
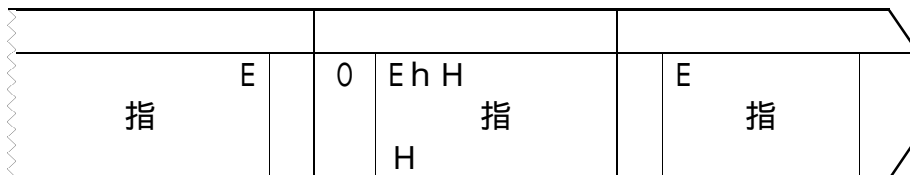
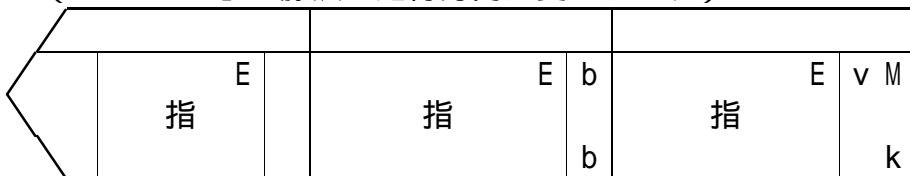
2020年9月1日(火曜日)新宿15時00分発「はこね27号」

車両番号・5号車=デハ30206(上記・6月16日の調査と同じ車両)

小田急電鉄30000形「EXE」の車内設備の配置図

箱根湯本 (はこね) 新宿
 小田原 (さがみ) 新宿
 藤沢 (えのしま) 片瀬江ノ島・新宿

「はこね」では1～6号車が箱根湯本発着で、7～10号車は小田原発着です。
 「はこね+えのしま」では1～6号車が「はこね」、7～10号車が「えのしま」です。
 (「えのしま」は藤沢で進行方向が変わります)



凡例

- 指 = 普通車指定席
- H = 車いす対応座席
- O = 車いす・オストメイト対応トイレ (ベビーベッド有)
- b = 車いす非対応トイレ (ベビーベッド・ベビーチェア有)
- M = 多目的室
- k = 車内販売準備室
- E = インターホン機能付緊急通報装置
- h = 車いすスペース
- = A E D (自動体外式除細動器)
- v = 飲料自動販売機 (車いす非対応)

細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車



小田急電鉄30000形「EXE」



小田急電鉄30000形「EXE」の
5号車1番A席の車いす対応座席



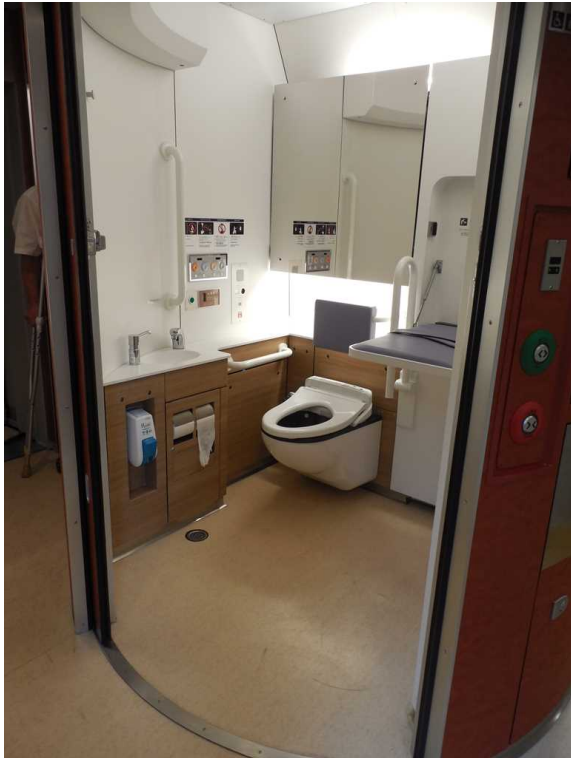
左の座席の車いす固定ベルトと
窓下の非常通報ボタン



小田急電鉄30000形「EXE」の
5号車2番D席の車いす対応座席と
車いすスペース



左の写真の車いすスペース部分にある
非常通話装置



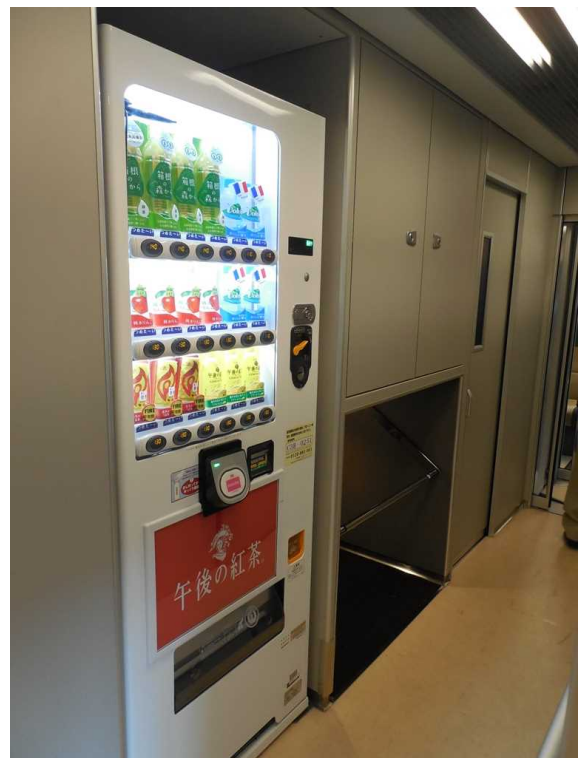
小田急電鉄30000形「EXE」の
5号車の多機能トイレ



左のトイレの便器の横に設置されている
オストメイト用スイッチ



小田急電鉄30000形「EXE」の
3号車のAEDと飲料自動販売機
AEDの後ろ側は車内販売準備室



小田急電鉄30000形「EXE」の
3号車の飲料自動販売機
ICカード対応でも車いす対応ではない
右奥は多目的室



小田急電鉄30000形「EXE」の
3号車の多目的室
案内掲示が何も無い



小田急電鉄30000形「EXE」の
4号車の公衆電話撤去跡
車いす非対応構造だったことがわかる